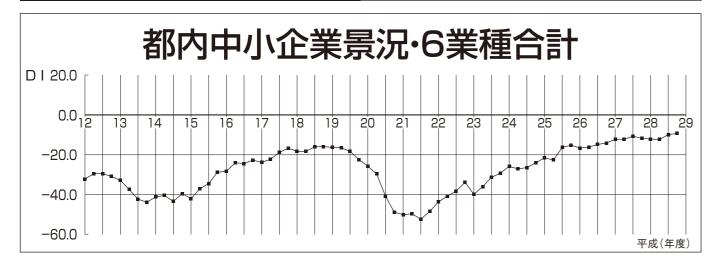
三に有報が 最に調査結果 学成29年 1月~3月期

卸売業・サービス業、水面下ながらわずかに持ち直す。~建設業・不動産業は前期並の良好感が続く~

いりじ	木 ノ			4 I 101	, כויע ני		コンピュ		以不 门 到1	工术心門。	41 AF 42		
東京都2月の企業倒産	日銀短観	全国の景況	業況、売上額、収益、価格動向・都内中小企業景況調査	調査員のコメント	業況、前期並の良好感が続く。	業況、前期並の良好感が続く。	業況、前期に引続きわずかに改善。	業況、前期同様の厳しさ続く。	業況・売上額、水面下ながらわずかに持ち直す。	業況、前期同様の厳しさが続く。	都内中小企業景況調査概況	「人手不足下における中小企業の人材活用策について」…2	特別調査
16	15	15	11	8	不動産業…フ	建設業…6	サービス業…5	小売業…4	卸売業…3	製造業…2		ういトJ…2 12	

一般社団法人東京都信用金庫協会



業況判断DI(季節調整済、「良い」企業割合-「悪い」企業割合)は-9.3(前期は-9.9)と前期に比べ0.6 ポイント改善した。業種別に見ると、卸売業・サービス業で水面下ながらわずかに改善し、建設業・不動産業は前期並の良好感が続いた。一方、製造業、小売業は前期同様の厳しさが続いた。

来期は、製造業・卸売業・小売業・サービス業は水面 下ながら改善すると予想している。

				前期	今期	増減	来期予想	今期との増減
製	芝	<u> </u>	業	-9.3	-9.2	0.1	-7.4	1.8
卸	き	Ê	業	-14.9	-12.7	2.2	-8.2	4.5
小	き	É	業	-24.8	-24.7	0.1	-22.7	2.0
サ	- L	゛ス	業	-10.3	-8.4	1.9	-6.6	1.8
建	記	L Ž	業	10.4	11.0	0.6	11.3	0.3
不	動	産	業	6.0	5.6	-0.4	4.5	-1.1
総			合	-9.9	-9.3	0.6	-7.4	1.9

●製造業

業況は前期同様の厳しさが続いた。受注残はわずかに 低迷し、売上額・収益は前期並の減少が続いた。

価格面では、販売価格は変動なく推移し、原材料価格はやや上昇が強まった。

業種別に見ると、「精密機械」は前期並の良好感が続き、「輸送用機械」はやや軟調に推移し、「プラスチック」「電気機械」は前期同様変化がなかった。「食料品」「ゴム製品」「紙・紙加工品」「木材・家具」はわずかに厳しさが和らいだ。「建設用金属」「化学工業」は大きく悪化に転じ、「一般機械」「繊維・衣服」「印刷関連」「皮革関連」はやや深刻さを増し、「金属製品」「プレス・めっき」は前期同様の厳しさが続いた。

来期の業況は厳しさが和らぐとみている。売上額・受注残・収益は水面下ながら持ち直すと予想している。

●小売業

業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・収益は前期並の低迷が続いた。価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格は前期同様の高い水準が続いた。

業種別では、「スポーツ用品・玩具」は水面下ながら大きく改善し、「ガソリンスタンド・燃料」「家電・家庭用機械」は多少厳しさが和らいだ。一方、「飲食店」「自転車・自動車」「繊維・衣服・身の回り品」「カメラ、時計・眼鏡」はやや深刻さを増し、「医薬品・化粧品」「家具・建具・じゅう器」は大きく業況感が落込んだ。

来期の業況は、厳しさが和らぐと予想している。売上額収益は持ち直すとみている。

●建設業

業況は前期並の良好感が続いた。売上額・施工高・収益は前期同様の増加が続き、受注残はわずかに弱含んだ。 価格面では、請負価格は前期並の上昇が続き、材料価格は幾分上昇を強めた。

業種別に見ると、「設備工事」は多少好調感が強まり、 「総合工事」は前期並の良好感が続いた。一方、「職別工事」はわずかに好調感が縮小した。

来期の業況は今期並の良好感が続くと予想している。 売上額・受注残・施工高・収益は今期同様の増加が続くと みている。

●卸売業

業況は水面下ながらわずかに改善した。売上額は幾分 持ち直し、収益は前期並の減少が続いた。価格面では、販 売価格は多少好転し、仕入価格は若干上昇が強まった。

業種別では、「化学製品」は大きくプラスに転じ、「機械器具」は前期同様変化なく、「鉱物・金属材料」「食料品・飲食料品」は水面下ながら大幅に持ち直した。「繊維・衣服」はやや厳しさが和らぎ、「建築材料」は多少悪化が強まった。

来期の業況は水面下ながら改善するとみている。売上額・収益は減少が一服するとみている。

●サービス業

業況は前期に引続き水面下ながらわずかに改善した。 売上額は前期並の低迷が続き、収益は水面下ながら若干 改善した。価格面では、料金価格はほぼ横這いで推移し、 材料価格は前期同様高い水準が続いた。

業種別に見ると、「娯楽」は水面下ながら大きく改善し、 「情報サービス・調査・広告」「自動車整備・駐車場」はやや明るさが見えた。「洗濯・理容・美容」は前期同様の厳しさが続いた。

来期の業況は今期同様の厳しさが続くとみている。売上額・収益はともに回復の兆しが見えると予想している。

●不動産業

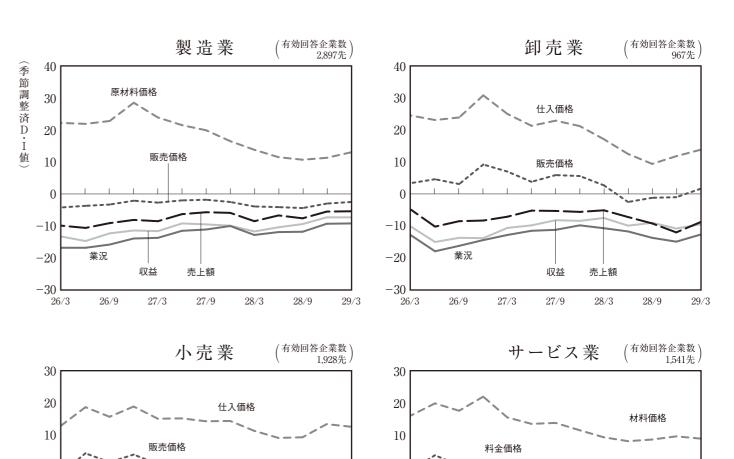
業況は前期並の良好感が続いた。売上額・収益は前期 同様の増加が続いた。

価格面では、販売価格・仕入価格ともにやや上昇が弱ま

業種別に見ると、「不動産代理・仲介」「建売・土地売買」は前期並の良好感が続いた。

来期の業況は、今期並の良好感が続くとみている。売上額・収益は今期同様の増加が続くと予想している。

都内中小企業の景況の推移



売上額

業況

27/3

収益

27/9

28/3

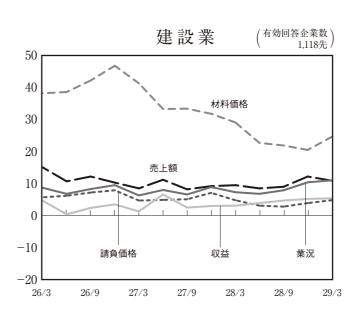
28/9

29/3

-10

-20

-30



収益

-10

-20

-30

26/3

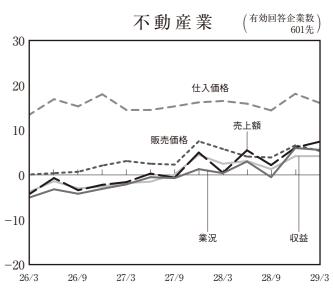
売上額

業況

28/3

28/9

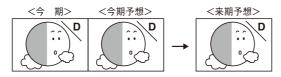
29/3



n

製造業

有効回答企業数 2,897先



業況、前期同様の厳しさが続く。



業況は前期同様の厳しさが続いた。受注残はわずかに低迷し、売上額・収益は前期並の減少が続いた。

価格面では、販売価格は変動なく推移し、原材料価格はやや上昇が強まった。資金繰りは前期並の厳しさで、 在庫は適正水準が続いた。

経営上の問題点では上位に変動がなく、「売上の停滞・減少」(43%)、「同業者間の競争の激化」(31%)、「利幅の縮小」(21%)の順となっている。重点経営施策では上位に変動がなく、「販路を広げる」(61%)、「経費を節減する」(46%)、「情報力を強化する」(16%)の順となった。

来期見通し

来期の業況は厳しさが和らぐとみている。売上額・受注 残・収益は水面下ながら持ち直すと予想している。価格 面では、販売価格は変動なく推移し、原材料価格は今期 並の上昇が続くとみている。

業種別·規模別動向



業種別に見ると、「精密機械」は前期並の良好感が続き、「輸送用機械」はやや軟調に推移し、「プラスチック」「電気機械」は前期同様変化がなかった。「食料品」「ゴム製品」「紙・紙加工品」「木材・家具」はわずかに厳しさが利らいだ。

「建設用金属」「化学工業」は大きく悪化に転じ、「一般機械」「繊維・衣服」「印刷関連」「皮革関連」はやや深刻さを増し、「金属製品」「プレス・めっき」は前期同様の厳しさが続いた。

来期は、「精密機械」は今期並の良好感が続き、「輸送用機械」は好調感が強まり、「電気機械」「建設用金属」は好転するとみている。「プラスチック」は今期同様変化なく、「一般機械」「化学工業」「プレス・めっき」「ゴム製品」「繊維・衣服」「皮革関連」は水面下ながら改善するとみている。「金属製品」「印刷関連」は今期同様の厳しさが続き、「食料品」「紙・紙加工品」「木材・家具」は悪化幅が拡大するとみている。

(従業員規模別)

従業員規模別に見ると、「20~49人」規模は前期並の 良好感が続き、「50~99人」規模はやや良化し、「10~19 人」規模は多少好転した。「100~300人」規模は幾分好 調感が後退し、「5~9人」規模はやや低迷、「1~4人」規 模は幾分深刻さを増した。

来期は、「 $100\sim300$ 人」規模は今期並の良好感が続き、「 $20\sim49$ 人」「 $50\sim99$ 人」規模は今期を上回るとみている。「 $10\sim19$ 人」規模は今期同様変化がなく、「 $1\sim4$ 人」「 $5\sim9$ 人」規模は持ち直すとみている。

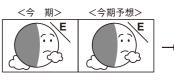
中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

業種別	前期の 業 況	今期	の業況	今期 予想	来期 予想
業 種 合 計	-9.3	-9.2		-7.9	-7.4
精 密 機 械	4	4	(::)°	3	4
プラスチック	1 🕂	1	(::)°	-1	1
輸送用機械	4	0	(::)°	12	10
電気機械	-2	-1		7	5
建設用金属	3	-3		8	11
食 料 品	-10 /	-5		-10	-7
一般機械	-3	-5		-6	-3
化学工業	3	-6		10	-4
金属製品	-10	-9		-7	-9
プレス・めっき	-10	-11		-11	-6
ゴム製品	-15	-12	(1) E	-7	-8
紙・紙加工品	-22 /	-17		-16	-19
木材・家具	-28 /	-23		-27	-25
繊維・衣服	-20 \	-23		-23	-20
印刷関連	-23	-25		-21	-24
皮革関連	-28	-30		-22	-20
1 ~ 4 人	-25	-27		-26	-25
5 ~ 9 人	-2	-4		-2	-1
10~19人	-4 /	1	(::)°	1	1
20~49人	9 🕂	9	(::)°	12	11
50~99人	11 /	14	(1.1)B	17	16
100~300人	20	18	(1.1)B	21	19

(小数点第1位四捨五入)

卸売業

動唱答企業数 967先



<u>→</u> #п ↔



業況·売上額、水面下ながらわずかに持ち直す。

今期

業況は水面下ながらわずかに改善した。売上額は幾 分持ち直し、収益は前期並の減少が続いた。

価格面では、販売価格は多少好転し、仕入価格は若 干上昇が強まった。

資金繰りはわずかに窮屈感が緩和し、在庫は前期同様の過剰感が続いた。

経営上の問題点の上位項目は、前期の1位と2位が同率となり、「売上の停滞・減少」「同業者間の競争の激化」(いずれも42%)、「利幅の縮小」(22%)の順となった。

重点経営施策の上位項目は前期同様変化なく、「販路を広げる」(67%)、「経費を節減する」(46%)、「情報力を強化する」(22%)の順となった。

来期見通し

来期の業況は水面下ながら改善するとみている。売上 額・収益は減少が一服するとみている。

価格面では、販売価格・仕入価格ともに上昇が弱まると予想している。

◄······ 業種別·規模別動向 ······▶



業種別では、「化学製品」は大きくプラスに転じ、「機械器具」は前期同様変化なく、「鉱物・金属材料」「食料品・飲食料品」は水面下ながら大幅に持ち直した。「繊維・衣服」はやや厳しさが和らぎ、「建築材料」は多少悪化が強まった。

来期は、「化学製品」「機械器具」は良好感が強まり、「建築材料」「繊維・衣服」は厳しさが和らぎ、「鉱物・金属材料」「食料品・飲食料品」は低調感を強めると予想している。

納入先別

納入先別では、「中小メーカー」は水面下ながらかなり 改善し、「問屋・商社」は多少持ち直した。「大メーカー」は 大きく悪化に転じ、「小売業者」は幾分深刻さを増した。

来期は、「大メーカー」は好転し、「中小メーカー」「問屋・ 商社」「小売業者」は水面下ながら改善するとみている。

従業員規模別

従業員規模別では、「50~100人」規模は大幅に前期を上回り、「20~49人」規模は前期並の良好感が続き、「10~19人」規模は水面下ながらやや明るさが見えた。「1~4人」規模はわずかに厳しさが和らぎ、「5~9人」規模は若干低調感を強めた。

来期は、「20~49人」規模は今期を上回り、「50~100人」規模は今期並の良好感が続き、「10~19人」規模は 好調に転じ、「1~4人」「5~9人」規模は水面下ながら持ち直すとみている。

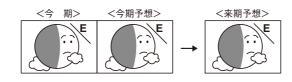
中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

業 種 別	前期の 業 況		の業況	今期 予想	
業種合計	-14.9	-12.7	7:)E	-11.5	-8.2
化 学 製 品	-12	7 6	(::)°	4	9
機械器具	3 `	2	()°	4	8
鉱 物 ・ 金属材料	-18	7 −9		-10	-16
食料品・飲食料品	−21 ⁄	-10	(i)	-15	-13
建築材料	-12`	k−17	::)E	-10	-12
繊 維・衣 服	-30 /	r −27		-20	-18
家具・建具	-23 `	¦ -30		-42	-4
大メーカー	8	_1	: P	5	7
中小メーカー	-14	¦ ∤ −8	(i)	-10	 -6
問 屋・商 社	-13	√ –8	: P	-8	- 5
小 売 業 者	-23 `	-25		-21	-20
1 ~ 4 人	-30 /	r −26		-26	-24
5 ~ 9 人	-15 `	-19	7:3 ^E	-13	-11
10~19人	− 5 ⁄	⊭ −3		1	3
20~49人	10 /	7 11	(::)B	13	17
50~100人	7 /	7 15	:: B	10	16

(小数点第1位四捨五入)

小売業

有効回答企業数 1,928先



業況、前期同様の厳しさ続く。



業況は前期同様の厳しさが続いた。売上額・収益は前 期並の低迷が続いた。

価格面では、販売価格は変動なく推移し、仕入価格は 前期同様の高い水準が続いた。資金繰り・借入難易度は 前期同様の厳しさで推移した。

経営上の問題点は上位に変動がなく、第1位が「売上の停滞・減少」(46%)、次いで「同業者間の競争の激化」(31%)、「大型店との競争の激化」(30%)の順となっている。

重点経営施策も上位に変動がなく、第1位が「経費を 節減する」(42%)、次いで「品揃えを改善する」(34%)、 「宣伝・広告を強化する」(24%)、「売れ筋商品を取り扱う」(22%)の順となっている。

来期見通し

来期の業況は、厳しさが和らぐと予想している。売上額・収益は持ち直すとみている。

価格面では、販売価格は下降へと転じ、仕入価格は落 着きを見せると予想している。

<···········業種別·規模別動向 ········▶



業種別では、「スポーツ用品・玩具」は水面下ながら大きく改善し、「ガソリンスタンド・燃料」「家電・家庭用機械」は多少厳しさが和らいだ。一方、「飲食店」「自転車・自動車」「繊維・衣服・身の回り品」「カメラ、時計・眼鏡」はやや深刻さを増し、「医薬品・化粧品」「家具・建具・じゅう器」は大きく業況感が落込んだ。

来期は、「飲食店」「医薬品・化粧品」「飲食料品」「自転車・自動車」「書籍・文房具」「カメラ、時計・眼鏡」は水面下ながら上向くとみている。一方、「スポーツ用品・玩具」「ガソリンスタンド・燃料」「家具・建具・じゅう器」は厳しさを増すと予想している。

(立地条件別

立地条件別では、「駅周辺」「その他」は水面下ながらわずかに上向いた。一方、「住宅地隣接」「団地内」はやや低調感を強めた。

来期は、「駅周辺」「その他」はさらに厳しさが和らぐと 予想している。

従業員規模別

従業員規模別では、「10~19人」規模は若干明るさが 見え、「20~50人」規模は幾分良好感が増した。一方、 「1~4人」「5~9人」規模は前期同様の厳しさが続いた。 来期は、「20~50人」規模は強含み、「10~19人」規模 は好転し、「5~9人」規模は持ち直すとみている。一方、「1 ~4人 | 規模は今期同様の厳しさが続くと予想している。

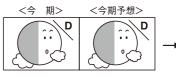
中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

業 種 別	前期の 業 況	今期		今期 予想	
業種合計	-24.8	- 24.7		-24.1	
スポーツ用品 ・ 玩 具	-14	7 −6	(::)°	-14	-10
ガソリンスタ ンド・燃 料	-18 /	r-13		-13	
飲食店	-20	-22		-20	-18
医薬品·化粧品	-17	√ −23			
飲食料品	-24	* −23		-24	-21
家 電 · 家 庭 用 機 械	-27	* −25			-25
木 材 · 建 築 材 料	-27	→-27		-27	-16
自転車·自動車	-29	√ −31		-23	-28
繊維・衣服・身の回り品	-29	⊾ −31		-28	-32
書籍・文房具	-33	* −32		-36	-28
家具・建具・じゅう 器	-29 \	-35		-29	-38
カ メ ラ 時 計・眼 鏡	-43 \	- 46			-39
駅 周 辺	-23	r−21		-23	-19
住宅地隣接	-27	-29		-26	-28
団 地 内	-15 \	√ −17		-15	-17
その他	-28	7 −26	7:)E	-27	-22
1 ~ 4 人	-31-	→-31		-30	-30
5 ~ 9 人	-12	7 -11		-8	-7
10~19人	-7	7 –3	(::)°	-7	2
20~50人	0	* 2	(1.1) B	-2	8

(小数点第1位四捨五入)

サービス業

有効回答企業数 1,541先





業況、前期に引続きわずかに改善。

今期

業況は前期に引続き水面下ながらわずかに改善した。 売上額は前期並の低迷が続き、収益は水面下ながら若 干改善した。

価格面では、料金価格はほぼ横這いで推移し、材料 価格は前期同様高い水準が続いた。資金繰りは前期並 の苦しさで推移し、人手は前期並の不足感が続いた。

経営上の問題点を見ると、上位の順位に変動はなく、第1位は「同業者間の競争の激化」(43%)、次いで「売上の停滞・減少」(34%)、「人手不足」(22%)の順となっている。

重点経営施策も上位の順位に変動はなく、第1位は「販路を広げる」(42%)、次いで「経費を節減する」(40%)、「宣伝・広告を強化する」(23%)、「人材を確保する」(20%)の順となっている。

来期見通し

来期の業況は今期同様の厳しさが続くとみている。売 上額・収益はともに回復の兆しが見えると予想している。

価格面では、料金価格は変動なく推移し、材料価格は上昇が弱まるとみている。

◄·······業種別·規模別動向 ······▶



業種別に見ると、「娯楽」は水面下ながら大きく改善し、「情報サービス・調査・広告」「自動車整備・駐車場」はやや明るさが見えた。「洗濯・理容・美容」は前期同様の厳しさが続いた。

来期は、「情報サービス・調査・広告」は好調に転じると みている。一方、「娯楽」は業況感が落込み、「自動車整 備・駐車場」「洗濯・理容・美容」は今期同様の厳しさが続 くと予想している。

(従業員規模別)

従業員規模別に見ると、「10~19人」規模は大きく好調に転じ、「5~9人」規模はかなり明るさが見えた。一方、「20~49人」規模は大幅に弱含み、「50~100人」規模はわずかに好調感が後退し、「1~4人」規模は前期同様の厳しさが続いた。

来期は、「10~19人」「50~100人」規模は好調感が増し、「1~4人」規模は厳しさが和らぐと予想している。

中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

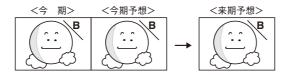
業種別	前期の 業 況	/_\ D	の業況	今期 予想	来期 予想
業種合計	-10.3	* −8.4		-6.5	-6.6
情報サービス・調査・広告	-3	▼ —1	(::)°	3	4
娯楽	-18	* −11		-8	-19
自動車整備 ・駐車場	-18	* −13		-14	-13
洗 濯・理 容・美容	-24	* −23	[:]E	-23	-22
1 ~ 4 人	-25	* −24		-23	-22
5 ~ 9 人	-14	≠ -5	(;;)°	- 5	- 5
10~19人	-5	* 2	(:-)°	-1	4
20~49人	20	x 12	(1.1)B	22	13
50~100人	24	2 1	(î î î	25	24

(小数点第1位四捨五入

 $\mathbf{5}$

建設業

有効回答企業数 1.118先



業況、前期並の良好感が続く。

今期

業況は前期並の良好感が続いた。売上額・施工高・収益 は前期同様の増加が続き、受注残はわずかに弱含んだ。

価格面では、請負価格は前期並の上昇が続き、材料 価格は幾分上昇を強めた。資金繰りは前期同様変わら ず推移し、人手は前期並の不足感が続いた。借入難易 度は前期同様の容易な状況が続いた。

経営上の問題点を見ると、第1位が「同業者間の競争の激化」(35%)と最も高く、次いで「人手不足」(33%)、「売上の停滞・減少」(24%)、「材料価格の上昇」(20%)、「利幅の縮小」「下請の確保難」(17%)の順となっている。

重点経営施策は、「販路を広げる」「経費を節減する」 (45%)が同率で1位となり、次いで「人材を確保する」 (35%)、「技術力を高める」(24%)の順となっている。

来期見通し

来期の業況は今期並の良好感が続くと予想している。 売上額・受注残・施工高・収益は今期同様の増加が続くと みている。

価格面では、請負価格は変動なく推移し、材料価格は 上昇が弱まるとみている。

<……·······業種別·規模別動向 ·······▶



業種別に見ると、「設備工事」は多少好調感が強まり、 「総合工事」は前期並の良好感が続いた。一方、「職別 工事」はわずかに好調感が縮小した。

来期は、全業種で今期並の良好感が続くと予想している。

建台集日

請負先別に見ると、「大企業請負」は大幅に強含み、「官公庁請負」「中小企業請負」は前期並の良好感が続いた。一方、「個人請負」はかなり低調感を強めた。

来期は、「中小企業請負」は上向き、「個人請負」は持ち直すとみている。一方、「大企業請負」「官公庁請負」 は好調感が縮小すると予想している。

従業員規模別

従業員規模別に見ると、「 $10\sim19$ 人」「 $20\sim49$ 人」規模はかなり好調感が強まった。一方、「 $50\sim99$ 人」規模は大幅に増勢が後退し、「 $5\sim9$ 人」規模はわずかに弱含み、「 $1\sim4$ 人」規模は若干厳しさを増した。

来期は、 $\lceil 5 \sim 9 \land \rfloor \lceil 50 \sim 99 \land \rfloor$ 規模は好調感が強まり、 $\lceil 1 \sim 4 \land \rfloor$ 規模は持ち直すと予想している。一方、 $\lceil 10 \sim 19 \land \rfloor \lceil 20 \sim 49 \land \rfloor$ 規模は軟調に推移するとみている。

中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

業種別	前期の 業 況		の業況	今期 予想	
業種合計	10.4	11.0	(1.1)B	11.7	11.3
職別工事	9	4 7	()°	11	8
総合工事	11 -	→ 11	(::)B	10	10
設備工事	12	* 17	(::)B	16	17
大企業請負	26	* 34	(n n) A	30	31
官公庁請負	32	* 33	(î î î	30	28
中小企業請負	3 -	→ 3	(::)°	5	6
個人請負	-1	- 7		-1	-4
1 ~ 4 人	-11 Y	<u>√</u> −13		-8	-10
5 ~ 9 人	13	10	C: B	12	12
10~19人	22	* 32	(î, î, î	23	24
20~49人	35 /	41	(î î î	37	39
50~99人	47 Y	32		45	44
100~300人	40	* 59		55	66

(小数点第1位四捨五入)

不動産業

有効回答企業数 601先





業況、前期並の良好感が続く。

今期

業況は前期並の良好感が続いた。売上額・収益は前期同様の増加が続いた。

価格面では、販売価格・仕入価格ともにやや上昇が弱まった。資金繰りは前期同様変わらず推移し、在庫は前期並の不足感が続いた。

経営上の問題点では前期と上位項目に変化なく、「同業者間の競争の激化」(43%)、「商品物件の不足」(33%)、「大企業との競争の激化」(21%)、「売上の停滞・減少」(19%)の順となった。

重点経営施策は前期と上位項目に変化なく、「情報力を強化する」(50%)、「販路を広げる」(32%)、「宣伝・広告を強化する」(28%)、「経費を節減する」(27%)の順となった。

来期見通L

来期の業況は、今期並の良好感が続くとみている。 売上額・収益は今期同様の増加が続くと予想している。 価格面では、今期に続き販売価格・仕入価格ともに 上昇が弱まるとみている。

<········業種別·規模別動向 ·······▶



業種別に見ると、「不動産代理・仲介」「建売・土地売買」は前期並の良好感が続いた。来期は、「建売・土地売買」は堅調に推移し、「不動産代理・仲介」は増勢が一服するとみている。

従業員規模別

従業員規模別に見ると、「1~4人」規模は前期同様変化なく、「5~9人」規模はわずかに好調感が後退した。「10~29人」規模は前期並の良好感が続いた。

来期は、「1~4人」規模は水面下ながら明るさが見え、「5~9人」「10~29人」規模は今期を下回ると予想している。



地域別に見ると、「都心」「副都心」「多摩」は前期並の 良好感が続き、「北部」は大きくプラスに転じた。「西部」は 幾分前期を下回り、「東部」はかなり厳しさを強め、「都心 近接」は前期同様の厳しさが続いた。

来期は、「北部」は今期を上回り、「多摩」は今期並の 良好感が続き、「副都心」「西部」は好調感が縮小すると みている。「東部」は今期同様変化なく、「都心」は水面下 に落込み、「都心近接」は悪化が強まると予想している。

中分類業種別·従業員別動向(業況判断D.I季調済)

24#B 6

業種別	前期の 業 況	今期	の業況	今期 予想	来期 予想
業種合計	6.0	5.6	(1.1)B	5.8	4.5
建売·土地売買	10	1 0		12	12
不動産代理 ・ 仲 介	5	→ 5	(1.1)B	3	2
1 ~ 4 人	-2	_3	()°	-1	-1
5 ~ 9 人	19	. 16	(î,î)A	13	11
10~29人	24 🖁	2 4	(î,î)A	23	15
30~300人	24	* 35	(î î î	29	32
都心	6	7	(1.1) B	8	-1
副 都 心	17	1 6	(î, î, î) A	9	10
都 心 近 接	_6 	→ -6	()°	0	-16
東部	9	√ −1	()°	1	0
西 部	10	4 6	(1.1)B	7	4
南 部	-1	7	(1.1)B	6	4
北部	-8 }	* 8	(1.1)B	-4	17
多摩	8 -	8	(1.1)B	11	8

(小数点第1位四捨五入)

製 造業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

- ①小規模だが技術力のある職人を抱えており、取引先が確保で きている。 (計測器部品、品川区、2名)
- ②大企業の事業規模縮小が痛手となっているが、新たな取引先 の確保で業績は上向いている。人手不足も解消したいところ。 (精密機器、世田谷区、21名)
- ③若手男女1名ずつ新規雇用し、販路拡大のための営業体制を
- (金属の旋盤加工、目黒区、24名) ④仕事量増加が見込まれる。単発、短納期の仕事はもちろん、継
- 続的に発注される仕事があり助かっている。 (シルクスクリーン印刷、荒川区、12名)
- ⑤営業、技術系スタッフとも現在人数は足りているが、中途採用に より常に各分野に必要な人材を集めている。

(タンクローリー、江戸川区、57名)

- ⑥製造部門には優秀なスタッフが揃っている。業況は順調。
- (各種ファン、足立区、18名) ⑦製造過程において女性が活躍している。今後も同数の従業員 (軽金属製品、葛飾区、2名) 確保が必須。
- ⑧賃金引き上げはモチベーションアップにもなるため検討してい る。限られた人材で生産性を上げていきたい。

(船舶用送風機、台東区、19名)

⑨現場の声をよく聞き、常に経営課題を考える。研究開発には5年 はかかるため、常に試作を打ち続けないと競争には勝てない。

(OAシステム機器、大田区、99名)

- ⑩働き方改革の計画を策定しており、抜本的な改革と、事業承継 の準備を並行している。 (医療用機器、稲城市、26名)
- ⑪印刷業界全体の経営環境が厳しく、当社は他社に出せない色 使いを行い差別化し経営努力を行っている。

(オフセット印刷、北区、7名)

(12)パッケージの刷新や商品ラインナップを強化するなど新規顧客 を獲得するため様々な取組みを実施している。

(和洋菓子、府中市、52名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①受注が伸びず、仕入れコストが上昇しており、収益を減少させる 要因が増えている。 (化粧合板、荒川区、3名)
- ②女性や若者の雇用を行い、次世代への承継も必要であると考えて いるものの、応募も少なく上手くいっていない。(麺類、立川市、10名)
- ③従業員の処遇等を見直したいが、業界全体が良好でないため 手が回らない。今後も労働環境は考えていきたい。

(印刷製本、港区、5名) ④人材不足によりこれからは女性や高齢者を積極的に採用して

いく必要があるが、体制が整っていない。

(水処理薬品、品川区、126名)

- ⑤営業力が課題であることは認識しているが、なかなか対応がで (測定装置、国分寺市、4名) きていない。
- ⑥社会的な流れとしては外国人の雇用は行っていくべきだが、実 務上はお客様との交渉においては意思疎通の関係から難しい。 (計測器、小平市、23名)
- ⑦若い人材がなかなか育たず、高齢者のベテランに頼ってしまう ことが多々ある。景気が悪く、なかなか人材育成まで対応でき ていたい。 (ロータリー研削盤、江東区、67名)
- ⑧大手メーカーの開発費が絞られており、売上減少。

(プラスチック加工、昭島市、31名)

- ⑨技術の承継が不安。当社だけでなく、取引先においても機械等 の性能が高まっても、扱う技術者が不足しては意味がない。
- (電子機器、東村山市、64名) ⑩客先の要求仕様の高度化に追い付くのがやっとの状態。昔は良か ったレベルでは通用しない時代に。(自動車部品、江戸川区、4名)
- ①利益が出せない状況下での働き方改革には問題あり。
- (水晶振動子、八王子市、20名) ②今年より材料の価格が上昇したことにより、収益性が悪くなって いる。上昇分の請求はできないので改善が必要。

(金属板金加工、調布市、11名)

卸売業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

- ①商品を全国から集めており、品質の良い物は地域活性化のた めにも積極的に取り扱っている。 (酒類、新宿区、11名)
- ②優秀な外国人もしくは外国語が話せる日本人を雇用し、海外 展開を拡大していきたい。

(事務機械·用品販売、国立市、34名)

- ③印刷業者が自社製品の付加価値として、ラミネート加工をする 機会が増加しており、販売が伸びている。
 - (印刷物のラミネート加工機器、千代田区、14名)
- ④為替の円安で国内産業の活性化があり、受注が伸びている。 (金属、あきる野市、4名)
- ⑤女性も管理部門で中心的な役割を担っており、今後も安定した 業績が見込める。 (娯楽機器、大田区、20名)
- ⑥女性・若者・高齢者のバランスの良い職場を目指している。外国 人については様子見の状況。 (建築金物、台東区、30名)
- ⑦業況は横這いであるが、開拓は成功しており業態を広げていく 予定。 (食肉、葛飾区、28名)
- ⑧勤務時間などの労働条件は柔軟に対応した結果、希望に近い 人材が確保できた。 (衣料・アパレル製品、小平市、8名)
- ⑨スキルや人生・社会経験を考慮し、40代女性の正社員登用 (3名) 実施。職場環境改善、生産性向上につながった。

(タオル、中央区、10名)

- ⑩バッグ等の雑貨販売から食料品、化粧品卸に転換し、売上は 増加傾向にある。 (食料品、町田市、5名)
- ①公営住宅のリフォームが動き始めており、それに伴う受注が増 加中。薄利多売で収益増加を図っている。

(排気管等、八王子市、16名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①若手従業員の育成に努めているが、高齢者の熟練技術に頼ら ざるを得ない状況である。 (螺子、大田区、9名)
- ②豊洲市場問題の解決あるいは方向性だけでも明確にならない と設備資金の投下ができない。 (水産物、目黒区、8名)
- ③中国製品などの品質向上もあり、競争は激しくなっている。

(寝具、中野区、5名) ④納品先から細かい要請があり、忙しい割には利幅が伸び悩ん

- でいる。 (縫製製品、杉並区、3名) ⑤社員の高齢化が進み、新規採用も難しく、社員構成は長年変
- わらない。 (医療機械器具、荒川区、15名)
- ⑥取引基盤は安定しているが、インターネットでの価格を持込ま れ、新規取引は見積もりの数ほど増えていない。

(建築資材·器具、板橋区、6名)

⑦主要販売先である百貨店が経営難や突然の倒産等があり、自 社で直接B to Cの仕組み作りが急務。

(学校制服、中央区、21名)

- ⑧海外生産へのシフトや、得意先の合併などにより受注は減少し ている。 (プラスチック材料、港区、14名)
- ⑨若手雇用に積極的であるが、人材の大手志向が強く、人材が 集まりにくい。 (測定機器、世田谷区、29名)
- ⑩原材料が米国より入荷するため、トランプ政権による価格変動 (為替変動)により収益が圧迫される。

(珍味·乾物、八王子市、3名)

- ①中国の景気低迷の影響で売上が減少している。販路拡大を図 (酵素製品、昭島市、3名) り活動している。
- 22人員の補充をしても定着率が低いのが課題。

(生花、江東区、3名)

小 売 業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

- ①次期後継者も一緒に働いており、事業承継が円滑に進められ ている。 (鮮魚、大田区、3名)
- ②仕入価格は上昇しているが、販売価格の見直しを行い、利幅は 確保できている。 (観賞魚・植物販売・レンタル、練馬区、10名)
- ③大型スーパー・コンビニとの競争により、低価格での商品(目玉 商品)を増加させたところ、集客効果が見受けられた。

(食料品、葛飾区、4名)

- ④同業他社との価格競争にまきこまれないよう、アフターメンテナン ス等配慮しお客様確保に努めている。(自転車、豊島区、2名)
- ⑤販売先の建設業が追い風の為、売上は安定している。 (機械工具、目黒区、2名)

⑥開業してから常連客が少しずつ増加しており、今後も売上増 加のために、内装工事を行い店舗を一新させたい。

(イタリア料理店、江戸川区、3名) ⑦他店にはない商品の取扱いや、学校関連商品を多く扱うなど

- の努力を行なっている。 (酒·雜貨、北区、2名) ⑧販売先・仕入先から情報を聞き、アドバイスをしながら販路を拡
- 大している。 (酒類、荒川区、3名) ⑨洋服の売上が好調である。店の入り口付近へ販売スペースを 移動したことにより、通行人が立ち止り、来店しやすくなるように (日用雑貨、港区、5名)
- ⑩輸入による仕入れもあるが、タイミング良く為替の影響はあまり 受けておらず、業況は順調に推移している。

(化粧品、福生市、27名)

- ①プレミアムフライデーによるキャンペーン販売が売上に貢献して (アイスクリーム、八王子市、23名) いる。
- (12)イベントを開催し、来店客を増やす取り組みを行なっている。 (バイク、立川市、7名) ③近隣住民を多く採用しており、地域によっては外国人留学生の多

い店舗もある。優秀な人材が多く、これからも増やしていきたい。 (コンビニエンスストア、多摩市、9名)

[業況に苦心している企業の例]

①大手量販店の攻勢により、来店客数は伸び悩んでいる。今後、 新茶のシーズンに入るので、売上を向上させたい。

(茶・海苔・タバコ、江戸川区、3名)

- ②大型量販店の出店に苦しめられている。駅前の好立地を活か し、週刊誌の販売を伸ばしたい。 (書籍・雑誌、練馬区、2名)
- ③大型量販店との競合により、商品単価の値引き要請が強くなっ (インテリア商材、品川区、23名) てきている。
- ④化粧品以外の商品売上を図るも思うようにいかない。シーズン 毎に新商品が発売されるので、在庫が増加している。

(化粧品、板橋区、8名)

- ⑤売上を確保するために、営業時間を延長したいが、負担も大き く、人手も不足している。 (飲食店、目黒区、1名)
- ⑥単品の売上はそこそこ見込まれるが、中元・歳暮・贈答品等は まだ苦戦している。 (和菓子の製造・販売、世田谷区、5名) ⑦現状を維持するので精一杯である。パソコン修理業務がメイン
- になってきており、店頭販売は商品が陳腐化している。

(家電販売·修理、中野区、2名)

- ⑧人件費の面から必要最低限の人数で経営しており、負担が大 きく感じられる。 (コンビニエンスストア、立川市、2名)
- ⑨人手不足の為、週1日休むことを決定した。

(燒肉店、武蔵野市、9名)

- ⑩天候によって仕入価格が変動する為、先行きが不鮮明である。 (漬物製造・販売、西多摩郡、30名)
- ①人員確保をすると人件費が上がり、利益率が落ちてしまう。 (医薬品、町田市、9名)
- ②従業員が高齢化しており、若い人材の確保が不可欠である。 (呉服、八王子市、20名)
- (3)ネット販売が主流になっているが、その中でも競合は多くなかな か売上が付いてこないのが現状である。(タイヤ、青梅市、4名)

サービス業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

①IoTに取組んでおり、更なる発展を見込んでいる。

(システム・IoT開発、港区、26名) ②事務所に女性専用の部屋を設けるなど、採用環境を整えており、

人材確保が難しいと言われている業界でも優位に立っている。 (タクシー、品川区、140名)

③既存の顧客から新規の顧客を紹介して頂く活動を実施している。 (ダスキンレンタル、板橋区、6名)

④顧客層が高齢・富裕層のため、景気に左右されにくい。

(理容、豊島区、1名) ⑤異常気象による災害検討も依然東北地方からの受注があり、

オリンピック受注と合わせて業況は良好である。 (設計·測量、中野区、29名)

- ⑥クラウドを利用したリース部門が好調である。
- (テレビ会議システムの販売・保守、千代田区、37名) ⑦健康ブームでトレーナー等の需要が増えている。

- (プロスポーツ選手の指導、目黒区、4名) ⑧球場広告を主体に安定した収益を上げており、今後も良好に 推移するとみている。 (広告代理店、港区、3名)
- ⑨4Kスキャナー導入後、高収益の案件の獲得ができており、今 後も期待できる。 (映像ダビング、狛江市、51名)
- ⑩外国人客が多く、近隣に外国人向け代理店がないため、安定 した収益を上げている。 (保険代理店、福生市、5名)
- ①社員が増え、仕事も増えたため、昨年より良い実績が残せる。
- (看板·表示物製造、八王子市、5名) ②工業用ロボットの電池販売が増加傾向にある。中国産の安価

な物の性能が悪く国産回帰しつつある。 (バッテリー・蓄電装置開発、武蔵野市、5名)

③ネットやコンビニを利用した新たなクリーニングサービスをはじ め、事業の拡大に努めている。 (クリーニング、立川市、8名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①葬儀業者には多様なサービスの提供が求められており、スタッ フ個人の力量に依存する部分が多く、サービス向上を図る上 で人材育成が欠かせない。 (葬祭請負、大田区、23名)
- ②自動車利用者数の減少に伴い、売上も減少傾向である。自動 車修理のみではなく、エンジンオイル等のネット販売にも力を入 れている。 (自動車修理、北区、4名)
- ③仕事はあるが、技術者がいない。技術者・新人の採用が出来な い状況である。(情報サービス・ソフトウェア、千代田区、12名)
- ④女性の採用については害虫が苦手な女性が多く、また、専門 職の為、中途で採用しようとしても中々集まらない。

(害虫駆除、目黒区、7名)

- ⑤特殊な職種であり、公共事業等の減少でこの先が全く読めない。 (吹付機他修理・リース、江戸川区、3名) ⑥多業態からの新規参入が増えてきている。入札の際に、低い
- 金額を提示するため、利益率が低下する傾向にある。

(業務用書類受託発送、世田谷区、52名)

- (7)特殊技術を用いた業種であるため、業況は上下しないが、利 幅の縮小がおきており、改善点を見つけることが課題となって (ビル外壁洗浄・貯水槽洗浄、練馬区、15名)
- ⑧低価格店を選ぶ消費者が多く、引続き売上が低迷している。ま た、地元顧客の来店頻度も下がってきている。

(クリーニング、板橋区、3名)

⑨取引先が大手メーカーのため、世界情勢などとリンクしており、 売上が減少している。 (人材派遣、八王子市、12名)

⑩ 重労働を要求する職場であり、人材が不足している。また、国 の方針で制度が度々変わるため振り回されている。

(介護、町田市、98名)

①従業員を増加しなければ、長時間労働の改善は難しい。 (自動車修理・販売、八王子市、1名)

⑫ベテラン職員が退職し、新人が入って仕事に慣れるまで時間 がかかっている。また、取引先の業務の見直しで利益率の高い 注文が減っている。 (情報処理サービス、千代田区、8名)

8

建設業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

- ①介護施設を運営しているため、女性・外国人労働者の受入れ には積極的。 (タイル工事、葛飾区、8名)
- ②自動車・石油コンビナート関連の特殊電気工事に特化した結 (電気工事、大田区、6名) 果、売上が1.5倍に増加した。
- ③ITによる営業強化により、実績が向上した。
 - (リフォーム工事、大田区、21名)
- ④ホームページの充実により、新規の見積りが増えた。オリンピック に向けて、受注が増加している。
- ⑤地元に根付いた経営を行なっており、個人宅からの受注が増 加傾向にある。 (建設・リフォーム、目黒区、7名)
- ⑥オリンピックを控え、建設需要はピークを迎えている。常時利用 する資機材・人員は年間契約で締結し、単価の安定化を図っ (土木工事、国分寺市、13名)
- (7)空調工事などは、女性でも十分に対応できる仕事であるため、 今後も女性を採用していきたい。
 - (空調機器の販売・修理、町田市、14名)
- ⑧マンション新築工事の受注はやめて、利益率のよい解体工事 に専念している。 (解体、国分寺市、5名)
- ⑨人材確保のために、ベトナムを中心に外国人雇用を行なっている。 (電気通信工事、立川市、12名)
- ⑩民間からの受注が増加しているが、落ち着いてきた時のため に、行政関係の仕事にも積極的に取組んでいる。

(建築基礎工事、東大和市、16名)

- ⑪技術力を活かし、業況は堅調に推移している。大手ゼネコンよ り受注増加傾向にある。 (建設、国立市、43名)
- ②自社にてセミナーを行い、地域の工務店を地域の人たちに知っ てもらう活動を行なっている。 (建設、日野市、6名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①内装業においては、オリンピック特需はもう少し先になりそうである。 (内装工事、大田区、5名)
- ②材料価格の上昇、人材不足等の中、客先からの受注額は厳し いものがあり、より良い方法を考慮し、安全にも十分に配慮し、 少しでも利幅を増加できるよう努めたい。

(空調機器販売・施工、豊島区、5名) ③リフォーム工事の受注は増加しているが、材料価格が高く、利

- 幅は縮小している。 (内装工事、渋谷区、5名) ④現場職人の年齢が年々高くなっており、引退される方もいる中
- で、長く働いてもらうような環境作りが必要となっている。

(タイル工事、練馬区、3名)

- ⑤賃貸マンションのユニット取付は好調であるが、反面企業先の 設備投資が鈍化しており、売上高は横ばいの状況である。
 - (厨房器具取付、中野区、10名)
- ⑥新築現場工事は外注費や材料費の支払いが多い。 (建設、世田谷区、3名)
- ⑦以前、人手不足により外国人を雇い作業員として労働させてい たが、突然帰国してしまった経緯があり、雇用には慎重である。
 - (建築基礎工事、東大和市、15名)
- ⑧年度末に向けて受注が多く、人手が不足している。外注への 依存度が高くなってきている。

(冷暖房給排水設備工事、小平市、4名)

- ⑨人件費の増加・材料価格の上昇をどれだけ受注価格に転嫁で きるかが課題である。 (建設、武蔵野市、12名)
- ⑩処分費が高騰しているにも関わらず、契約内容を変えることが 出来ず、経営を圧迫している。 (産廃処理、八王子市、7名)
- 印若い世代に対しての技術継承をどのようにしていくかが課題の (冷暖房設備工事、八王子市、35名)
- ②求人広告等で人員を募集するが、反応が薄い。今後、下請け の確保が課題である。(サイディング施工、武蔵村山市、9名)

不 動 産 業

[好調な企業、努力が実っている企業の例]

- ①現在、在庫を多く保有せず、回転率は良く循環している。今後 も件数を重視し、長期間保有せずに取り組みたい。
 - (不動産賃貸、練馬区、1名)
- ②3月以降入居者の入れ替わり等があるため、売上増加に期待 (アパート、マンション管理、杉並区、1名) できる。
- ③数十年、地元で不動産業を営んでいる。不動産の有効活用に ついての相談が増えている。

(不動産代理·仲介、豊島区、10名)

- ④従業者については比較的若手が増えている。事務面では女性 従業員が必要。 (不動産売買、三鷹市、11名)
- ⑤不動産の売買を始め売上は増加。今後も商品物件の取扱を 増やしていく方針である。 (不動産代理・仲介、青梅市、3名)
- ⑥利幅を考えた仕入をしており、年間で2~3棟のみを販売してい るので人手もそれほど困っていない。

(不動産仲介、東大和市、2名)

- ⑦親族経営だが、任せる職務等を考えOJTを通して能力向上を 図っている。 (不動產代理·仲介、葛飾区、2名)
- ⑧若手人材のスキルアップを図り、社内体制の整備に積極的に 取組んでいる。 (不動産仲介、羽村市、8名)
- ⑨大手が小規模賃貸物件を手放しており、地元不動産業は売上 (不動産仲介·管理、昭島市、5名)
- ⑩管理物件が安定しており、今後は売買をすることで売上増加を 目論んでいる。 (不動産賃貸·管理、中野区、7名)
- ①従業員を増やしたことで業務量も増加。より効率化を図り、生産 性も向上させていきたい。 (建壳·建築、立川市、9名)
- ②土地の値段が上昇しており、仕入できる物件が少なく厳しい が、買い手も高い値段で購入してくれる分収益は良くなりそう。

(不動産賃貸·売買、板橋区、2名)

[業況に苦心している企業の例]

- ①商品物件の高騰により利益率低下。また物件自体も少なく、ネッ トワークを強化し、不動産情報を多く活用することが鍵である。 (不動産売買·戸建分譲、練馬区、4名)
- ②建築が増加傾向ではあるが、入居率が高いのは新築物件ば かり。入居率低下の物件に対して何ができるか考えなければな (不動産仲介、大田区、6名)
- ③テナントの長期空室状況が続いており、早期入居により売上増 加を目指している。 (不動産賃貸、青梅市、2名)
- ④今後は空き部屋が増える懸念があり、大手企業の営業担当と の関係も強化して売上の維持を図りたい。

(不動産賃貸、荒川区、5名)

- ⑤不動産仕入時の価格高騰が止まらず、仕入できる物件が限ら れることが厳しい。 (不動産管理、板橋区、2名)
- ⑥管理していた駐車場、倉庫が建売等に変わることもあり、今後 管理物件を維持していくことが重要となる。

(不動産管理、足立区、2名)

- ⑦商品物件の価格が高騰しており、新しい管理物件を購入でき ない状況。 (不動産仲介·管理、武蔵野市、3名)
- ⑧生活保護等の住人が増加し、家賃収入の未払いや延滞に苦 (不動産仲介、西多摩郡、6名)
- ⑨商品物件の仕入れ価格の高騰と商品不足により、仕入が難し い状況にある。 (建壳、杉並区、5名)
- ⑩社員の高齢化、人材不足は大きな問題になっている。どのよう に解決するかを検討している。
 - (不動産売買·仲介·管理、西東京市、12名)
- ①空室が目立ち、また賃料も下がっているケースが多い。入居者 (不動産仲介、新宿区、1名)
- ②賃貸住宅の供給過剰により空室が多い。また、企業の倒産等 廃業による従業員の退室の影響も多い。

(不動産仲介、八王子市、2名)

都内中小企業景況調査

業況、売上額、収益、価格動向

※数	値は	全て	季節多	变動詞	周整剂	斉D.I	値				(予想値)													(予想値)
製油	告 業	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6	卸	売	業	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6
業	況	-13.7	-11.5	-11.1	-10.0	-12.8	-11.9	-11.8	-9.3	-9.2		業		況	-12.8	-11.5	-11.2	-9.8	-10.7	-11.7	-13.7	-14.9	-12.7	
予	想	-12.5	-10.0	-10.2	-10.0	-6.5	-10.8	-10.6	-9.7	-7.9	-7.4	予		想	-12.3	-8.9	-8.7	-8.1	-7.6	-8.1	-10.7	-10.1	-11.5	-8.2
売 _	上額	-8.5	-6.3	-5.7	-5.9	-8.5	-6.7	-7.6	-5.5	-5.4		売	上	額	-7.1	-5.2	-5.3	-5.6	-5.1	-7.2	-9.2	-12.0	-8.8	
予	想	-7.4	-4.1	-3.0	-4.2	-1.9	-5.9	-5.4	-4.6	-2.8	-2.5	予		想	-4.7	-4.5	-0.8	-0.2	-0.8	-4.0	-6.0	-4.2	-5.4	-1.2
収	益	-11.6	-9.2	-9.5	-9.9	-11.7	-10.4	-9.4	-7.3	-7.3		収		益	-10.6	-9.8	-8.2	-8.4	-7.5	-9.9	-9.0	-10.8	-9.5	
予	想	-11.4	-8.3	-6.9	-7.3	-5.3	-9.1	-8.9	-7.4	-5.6	-5.0	予		想	-10.6	-7.6	-6.1	-3.2	-4.1	-6.3	-8.5	-6.0	-6.4	-4.1
販売	価格	-2.7	-2.0	-1.8	-2.5	-3.9	-4.1	-4.4	-3.0	-2.5		販売	も価	格	7.0	3.8	5.9	5.6	2.7	-2.5	-1.2	-1.0	1.6	
予	想	-2.0	-3.0	-1.6	-1.3	-1.7	-3.9	-4.1	-4.0	-2.1	-1.7	予		想	9.1	4.2	4.0	3.8	5.0	0.5	-2.6	-0.7	-0.3	0.0
原材料	料価格	23.9	21.5	19.9	16.5	13.8	11.5	10.7	11.3	13.0		仕ノ	人価	格	25.0	21.3	22.9	21.2	17.1	12.5	9.4	11.8	13.8	
予	想	25.0	17.3	17.1	17.0	14.9	10.1	9.3	9.4	9.9	11.6	予		想	28.2	19.3	20.2	17.0	18.3	11.7	9.8	6.7	10.9	10.1

											(予想値)														(予想値
小	売 業	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6	+	# –	ビス	業	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6
業	況	-29.0	-26.6	-26.7	-25.3	-25.2	-27.0	-26.8	-24.8	-24.7		1	業		況	-14.4	-13.5	-13.5	-12.2	-10.7	-12.7	-12.8	-10.3	-8.4	
予	想	-28.9	-27.1	-25.3	-25.9	-23.9	-24.4	-26.5	-25.3	-24.1	-22.7	=	子		想	-12.8	-13.8	-13.9	-12.1	-8.7	-9.6	-10.5	-9.9	-6.5	-6.6
売	上額	-23.2	-20.4	-21.6	-19.2	-20.5	-21.6	-20.5	-18.1	-19.2		5	売	上	額	-9.6	-8.2	-8.9	-7.8	-7.8	-10.5	-8.3	-5.8	-5.5	
予	想	-21.8	-18.8	-18.6	-20.2	-17.4	-18.2	-19.8	-18.0	-15.9	-15.8	=	予		想	-8.4	-9.1	-8.2	-6.6	-3.3	-3.7	-6.7	-4.7	-3.3	-2.7
収	益	-25.0	-23.3	-23.0	-21.1	-21.9	-21.6	-21.3	-20.6	-21.9		1	収		益	-10.9	-10.7	-10.0	-9.2	-9.2	-11.2	-10.7	-8.7	-7.0	
予	想	-22.9	-20.3	-20.7	-21.2	-18.6	-19.0	-20.3	-18.8	-17.8	-18.3	=	}		想	-11.1	-10.9	-10.9	-8.2	-5.1	-6.3	-8.0	-7.5	-4.4	-4.1
販売	- 価格	0.8	-0.9	-0.3	1.6	-1.4	-2.6	-2.7	0.0	0.0		¥	料金	全価	格	0.7	-1.6	-0.7	-0.7	-1.7	-2.4	-2.0	-1.9	-3.0	
予	想	2.6	-0.6	-1.3	-0.8	1.9	-2.5	-3.0	-2.5	-0.4	-2.4	=	7		想	0.4	-1.2	-2.0	-1.5	0.0	-1.8	-2.1	-1.5	-1.1	-2.9
仕	入価格	15.0	15.1	14.2	14.3	11.2	9.0	9.2	13.3	12.5		1	材米	斗価	格	14.5	13.4	13.7	11.4	9.2	8.0	8.5	9.5	8.8	
予	想	16.1	11.7	12.7	12.1	11.6	7.4	7.5	7.2	10.1	8.1	=	了		想	18.2	10.2	11.1	11.3	10.1	8.0	7.5	7.8	8.0	7.1

										(予想値)													(予想値)
設 業	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6		不動	産業	27/3	27/6	27/9	27/12	28/3	28/6	28/9	28/12	29/3	29/6
況	6.3	8.0	6.6	8.9	7.3	6.8	7.9	10.4	11.0			業	況	-2.1	-0.5	-0.7	1.3	0.4	3.0	-0.5	6.0	5.6	
想	7.6	9.1	8.7	7.8	13.5	7.7	8.9	10.3	11.7	11.3		予	想	-5.3	-3.0	1.1	-0.4	0.0	3.0	-1.9	0.0	5.8	4.5
上額	8.5	11.2	8.2	9.2	9.5	8.5	9.0	12.2	10.9			売 _	上 額	-1.6	0.3	-0.6	5.0	0.5	5.5	2,2	6.1	7.4	
想	9.8	9.9	10.5	9.5	12.3	9.1	10.7	9.0	13.8	10.6		予	想	-0.4	2.0	2.3	2.5	4.1	3.4	0.2	3.2	5.7	6.6
益	1.3	6.6	2.5	3.0	3.1	3.9	4.7	5.2	5.4			収	益	-1.8	-1.5	0.1	4.5	2.5	3.1	1.3	4.2	4.2	
想	3.5	2.9	4.7	2.8	4.5	2.8	3.8	4.8	7.1	4.8		予	想	-2.8	-0.1	-1.3	1.4	0.4	1.3	-1.5	1.0	3.4	4.2
負価格	4.7	4.9	5.1	7.1	4.8	3.1	2.8	3.9	4.8			販売	価格	3.1	2.5	2.3	7.5	5.8	4.1	3.9	6.6	5.4	
想	7.2	6.0	2.8	4.2	6.4	4.2	4.1	1.7	2.8	3.6		予	想	3.2	3.5	1.6	4.0	5.7	4.5	4.2	3.6	4.2	2.4
料価格	41.3	33.3	33.4	31.8	29.1	22.7	21.9	20.5	24.6			仕入	価格	14.5	14.5	15.3	16.2	16.5	15.9	14.4	18.1	16.1	
想	42.0	31.8	27.3	30.1	27.0	23.6	19.8	17.9	18.9	20.2		予	想	15.3	14.7	12.6	14.2	15.5	14.7	14.1	13.3	15.9	11.0
	况 想 想 益 想 格 想 格	況 6.3 想 7.6 上額 8.5 想 9.8 益 1.3 想 3.5 負価格 4.7 想 7.2 料価格 41.3	説 6.3 8.0 想 7.6 9.1 上 額 8.5 11.2 想 9.8 9.9 益 1.3 6.6 想 3.5 2.9 負価格 4.7 4.9 想 7.2 6.0 料価格 41.3 33.3	説 6.3 8.0 6.6 1.2 8.7 8.5 11.2 8.2 11.3 6.6 2.5 1.3 6.6 2.5 1.3 6.6 2.5 1.3 6.6 2.5 1.3 6.6 2.5 1.3 6.6 2.5 1.3 1.5 1.	説 6.3 8.0 6.6 8.9	説 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 想 7.6 9.1 8.7 7.8 13.5 上 額 8.5 11.2 8.2 9.2 9.5 想 9.8 9.9 10.5 9.5 12.3 益 1.3 6.6 2.5 3.0 3.1 想 3.5 2.9 4.7 2.8 4.5 負価格 4.7 4.9 5.1 7.1 4.8 想 7.2 6.0 2.8 4.2 6.4 料価格 41.3 33.3 33.4 31.8 29.1	説 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 6.8 想 7.6 9.1 8.7 7.8 13.5 7.7 上額 8.5 11.2 8.2 9.2 9.5 8.5 想 9.8 9.9 10.5 9.5 12.3 9.1 当 1.3 6.6 2.5 3.0 3.1 3.9	説 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 6.8 7.9	沢 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 6.8 7.9 10.4 想 7.6 9.1 8.7 7.8 13.5 7.7 8.9 10.3 上 額 8.5 11.2 8.2 9.2 9.5 8.5 9.0 12.2 想 9.8 9.9 10.5 9.5 12.3 9.1 10.7 9.0 益 1.3 6.6 2.5 3.0 3.1 3.9 4.7 5.2 想 3.5 2.9 4.7 2.8 4.5 2.8 3.8 4.8 負価格 4.7 4.9 5.1 7.1 4.8 3.1 2.8 3.9 想 7.2 6.0 2.8 4.2 6.4 4.2 4.1 1.7 料価格 41.3 33.3 33.4 31.8 29.1 22.7 21.9 20.5	設業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 況 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 6.8 7.9 10.4 11.0 想 7.6 9.1 8.7 7.8 13.5 7.7 8.9 10.3 11.7 上額 8.5 11.2 8.2 9.2 9.5 8.5 9.0 12.2 10.9 想 9.8 9.9 10.5 9.5 12.3 9.1 10.7 9.0 13.8 益 1.3 6.6 2.5 3.0 3.1 3.9 4.7 5.2 5.4 想 3.5 2.9 4.7 2.8 4.5 2.8 3.8 4.8 7.1 負価格 4.7 4.9 5.1 7.1 4.8 3.1 2.8 3.9 4.8 想 7.2 6.0 2.8 4.2 6.4 4.2 4.1 1.7 2.8 料価格 41.3 33.3 33.4 31.8 29.1 22.7<	説 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 6.8 7.9 10.4 11.0 11.3 11.3 11.5 11.3 11.5 1	設業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 況 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 6.8 7.9 10.4 11.0 想 7.6 9.1 8.7 7.8 13.5 7.7 8.9 10.3 11.7 11.3 上額 8.5 11.2 8.2 9.2 9.5 8.5 9.0 12.2 10.9 想 9.8 9.9 10.5 9.5 12.3 9.1 10.7 9.0 13.8 10.6 益 1.3 6.6 2.5 3.0 3.1 3.9 4.7 5.2 5.4 想 3.5 2.9 4.7 2.8 4.5 2.8 3.8 4.8 7.1 4.8 負価格 4.7 4.9 5.1 7.1 4.8 3.1 2.8 3.9 4.8 概 7.2 6.0 2.8 4.2 6.4 4.2 4.1 1.7 2.8 3.6 料価格 41.3 <th>設業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 不動 況 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 6.8 7.9 10.4 11.0 業 利 7.6 9.1 8.7 7.8 13.5 7.7 8.9 10.3 11.7 11.3 予 上 額 8.5 11.2 8.2 9.2 9.5 8.5 9.0 12.2 10.9 売 ユ 想 9.8 9.9 10.5 9.5 12.3 9.1 10.7 9.0 13.8 10.6 予 益 1.3 6.6 2.5 3.0 3.1 3.9 4.7 5.2 5.4 収 利 3.5 2.9 4.7 2.8 4.5 2.8 3.8 4.8 7.1 4.8 予 負価格 4.7 4.9 5.1 7.1 4.8 3.1 2.8 3.9 4.8 販売 想 7.2 6.0 2.8 4.2 6.4 4.2 4.1 1.7 2.8 3.6 予 性価格 41.3 33.3 33.4 31.8 29.1 22.7 21.9 20.5 24.6 仕入</th> <th>設業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 不動産業業況 況 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 6.8 7.9 10.4 11.0 業況 業況 想 7.6 9.1 8.7 7.8 13.5 7.7 8.9 10.3 11.7 11.3 予想 上額 8.5 11.2 8.2 9.2 9.5 8.5 9.0 12.2 10.9 売上額 想9.8 9.9 10.5 9.5 12.3 9.1 10.7 9.0 13.8 10.6 予想 益1.3 6.6 2.5 3.0 3.1 3.9 4.7 5.2 5.4 収益 費価格 4.7 4.9 5.1 7.1 4.8 3.1 2.8 3.9 4.8 升級 販売価格 提供 7.2 6.0 2.8 4.2 6.4 4.2 4.1 1.7 2.8 3.6 予想 對価格 41.3 33.3 33.4 31.8 <</th> <th> Registration of the color o</th> <th> 記載 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 不動産業 27/3 27/6 決</th> <th> 接 業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 不動産業 27/3 27/6 27/9 次 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 6.8 7.9 10.4 11.0 業 況 -2.1 -0.5 -0.7</th> <th>接業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 不動産業 27/3 27/6 27/9 27/12 第 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元</th> <th> 記録 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 不動産業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 深</th> <th>接業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 深動産業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 況 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 6.8 7.9 10.4 11.0 業 況 -2.1 -0.5 -0.7 1.3 0.4 3.0 想 7.6 9.1 8.7 7.8 13.5 7.7 8.9 10.3 11.7 11.3 予 想 -5.3 -3.0 1.1 -0.4 0.0 3.0 上額 8.5 11.2 8.2 9.2 9.5 8.5 9.0 12.2 10.9 売上額 -1.6 0.3 -0.6 5.0 0.5 5.5 想 9.8 12.3 9.1 10.7 9.0 13.8 10.6 予 想 -0.4 2.0 2.3 2.5 4.1 3.4 益 1.3 6.6 2.5 3.0 3.1 3.9 4.7 5.2 5.4 収 益 -1.8 -1.5 0.1 4.5 2.5 3.1 想 3.5 2.9 4.7 2.8 4.5 2.8 3.8 4.8 7.1 4.8 予 想 -2.8 -0.1 -1.3 1.4 0.4 1.3 負価格 4.7 4.9 5.1 7.1 4.8 3.1 2.8 3.9 4.8 販売価格 3.1 2.5 2.3 7.5 5.8 4.1 類価格 41.3 33.3 33.4 31.8 29.1 22.7 21.9 20.5 24.6 吐入価格 14.5 14.5 15.3 16.2 16.5 15.9</th> <th>接業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6</th> <th> 接換 業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 不動産業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 深</th> <th>接業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6</th>	設業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 不動 況 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 6.8 7.9 10.4 11.0 業 利 7.6 9.1 8.7 7.8 13.5 7.7 8.9 10.3 11.7 11.3 予 上 額 8.5 11.2 8.2 9.2 9.5 8.5 9.0 12.2 10.9 売 ユ 想 9.8 9.9 10.5 9.5 12.3 9.1 10.7 9.0 13.8 10.6 予 益 1.3 6.6 2.5 3.0 3.1 3.9 4.7 5.2 5.4 収 利 3.5 2.9 4.7 2.8 4.5 2.8 3.8 4.8 7.1 4.8 予 負価格 4.7 4.9 5.1 7.1 4.8 3.1 2.8 3.9 4.8 販売 想 7.2 6.0 2.8 4.2 6.4 4.2 4.1 1.7 2.8 3.6 予 性価格 41.3 33.3 33.4 31.8 29.1 22.7 21.9 20.5 24.6 仕入	設業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 不動産業業況 況 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 6.8 7.9 10.4 11.0 業況 業況 想 7.6 9.1 8.7 7.8 13.5 7.7 8.9 10.3 11.7 11.3 予想 上額 8.5 11.2 8.2 9.2 9.5 8.5 9.0 12.2 10.9 売上額 想9.8 9.9 10.5 9.5 12.3 9.1 10.7 9.0 13.8 10.6 予想 益1.3 6.6 2.5 3.0 3.1 3.9 4.7 5.2 5.4 収益 費価格 4.7 4.9 5.1 7.1 4.8 3.1 2.8 3.9 4.8 升級 販売価格 提供 7.2 6.0 2.8 4.2 6.4 4.2 4.1 1.7 2.8 3.6 予想 對価格 41.3 33.3 33.4 31.8 <	Registration of the color o	記載 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 不動産業 27/3 27/6 決	接 業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 不動産業 27/3 27/6 27/9 次 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 6.8 7.9 10.4 11.0 業 況 -2.1 -0.5 -0.7	接業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 不動産業 27/3 27/6 27/9 27/12 第 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元 3 元	記録 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 不動産業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 深	接業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 深動産業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 況 6.3 8.0 6.6 8.9 7.3 6.8 7.9 10.4 11.0 業 況 -2.1 -0.5 -0.7 1.3 0.4 3.0 想 7.6 9.1 8.7 7.8 13.5 7.7 8.9 10.3 11.7 11.3 予 想 -5.3 -3.0 1.1 -0.4 0.0 3.0 上額 8.5 11.2 8.2 9.2 9.5 8.5 9.0 12.2 10.9 売上額 -1.6 0.3 -0.6 5.0 0.5 5.5 想 9.8 12.3 9.1 10.7 9.0 13.8 10.6 予 想 -0.4 2.0 2.3 2.5 4.1 3.4 益 1.3 6.6 2.5 3.0 3.1 3.9 4.7 5.2 5.4 収 益 -1.8 -1.5 0.1 4.5 2.5 3.1 想 3.5 2.9 4.7 2.8 4.5 2.8 3.8 4.8 7.1 4.8 予 想 -2.8 -0.1 -1.3 1.4 0.4 1.3 負価格 4.7 4.9 5.1 7.1 4.8 3.1 2.8 3.9 4.8 販売価格 3.1 2.5 2.3 7.5 5.8 4.1 類価格 41.3 33.3 33.4 31.8 29.1 22.7 21.9 20.5 24.6 吐入価格 14.5 14.5 15.3 16.2 16.5 15.9	接業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6	接換 業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 不動産業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6 深	接業 27/3 27/6 27/9 27/12 28/3 28/6 28/9 28/12 29/3 29/6

特別調査「人手不足下における中小企業の人材活用策について」(平成29年3月上旬調査)

①従業者数に占める女性の割合と職務分野

女性の割合「10%未満」42.2% 職務分野「総務·経理·庶務」48.6%

②従業者数に占める高齢者の割合と職務分野

高齢者の割合「10%未満」43.6% 職務分野「営業・販売・接客」31.4% 「製造・生産・現場作業」31.3%

③従業者数に占める外国人の割合と職務分野

外国人の割合「10%未満」94.5% 職務分野「製造·生産·現場作業」17.6%

④女性、高齢者、外国人の活躍推進に係る方針

女性について 「増やす方針」12.7% 「減らす方針」1.3% 「どちらともいえない」85.7% 高齢者について「増やす方針」5.9% 「減らす方針」5.1% 「どちらともいえない」75.5% 外国人について「増やす方針」3.2% 「減らす方針」3.9% 「どちらともいえない」77.8%

⑤働き方改革実現会議9項目の内注力するもの

「賃金引き上げと労働生産性の向上」28.4%、「女性・若者が活躍しやすい環境整備」25.5%、「長時間労働の是正」20.2%

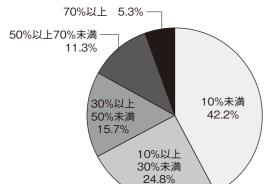
問1. 従業者数に占める女性の割合と職務分野

少子高齢化社会の進展に伴い、企業経営上の課題として人手不足がクローズアップされる中、信用金庫のお取引先企業を対象に、現在の 従業者数に占める女性の割合(非正規含む)と、女性が最も活躍している職務分野について調査した。

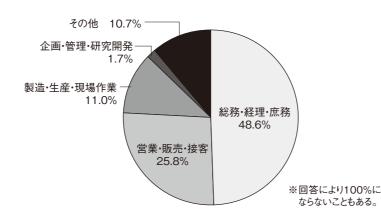
その結果、女性の割合については回答割合が高い順に「10%未満」42.2%、「10%以上30%未満」24.8%、「30%以上50%未満」15.7%、「50%以上70%未満」11.3%、「70%以上」5.3%の順であった。

次に女性が最も活躍している職務分野については「総務・経理・庶務」48.6%、「営業・販売・接客」25.8%、「製造・生産・現場作業」11.0%、「企画・管理・研究開発」1.7%、「その他」10.7%であった。

従業者数に占める女性の割合



女性が最も活躍している職務分野



業種別に見ると、女性の割合については小売業を除く5業種(製造業、卸売業、サービス業、建設業、不動産業)は共通して「10%未満」「10%以上30%未満」「30%以上50%未満」「50%以上70%未満」「70%以上」の順であった。小売業では他の業種と2位と4位が入れ替わっており、「10%未満」34.3%、「50%以上70%未満」20.5%、「30%以上50%未満」19.7%、「10%以上30%未満」15.0%、「70%以上」9.8%の順であった。

次に女性が最も活躍している職務分野については、卸売業、建設業、不動産業では回答割合が高い順に上位2項目は「総務・経理・庶務」「営業・販売・接客」となっており、この2項目の合計でいずれの業種も8割を占めている。同様に小売業、サービス業では回答割合が高い順に「営業・販売・接客」「総務・経理・庶務」となっており、製造業では「総務・経理・庶務」「製造・生産・現場作業」となっている。全業種に共通して、「企画・管理・研究開発」は3%未満であった。

従業者規模別で見ると、女性の割合については、従業者規模が小さくなるほど「10%未満」とした企業の割合が高くなり、「10%以上30%未満」とした企業の割合が低くなる傾向が見られた。

次に女性が最も活躍している職務分野については、従業者規模が大きくなるほど「総務・経理・庶務」とした企業の割合が高くなる傾向が見られた。

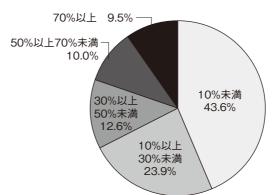
問2. 従業者数に占める高齢者の割合と職務分野

同様に、現在の従業者数に占める高齢者の割合(ここでは60歳以上を想定、非正規含む)と、高齢者が最も活躍している職務分野について調査した。

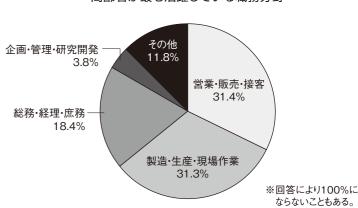
その結果、高齢者の割合については回答割合が高い順に「10%未満」43.6%、「10%以上30%未満」23.9%、「30%以上50%未満」12.6%、「50%以上70%未満」10.0%、「70%以上 | 9.5%の順であった。

次に高齢者が最も活躍している職務分野については「営業・販売・接客」31.4%、「製造・生産・現場作業」31.3%、「総務・経理・庶務」18.4%、「企画・管理・研究開発」3.8%、「その他」11.8%であった。

従業者数に占める高齢者の割合



高齢者が最も活躍している職務分野



業種別に見ると、高齢者の割合については全業種に共通して回答割合が高い順に「10%未満」「10%以上30%未満」が上位2項目を占め、この2項目の合計で全回答の内、小売業では約6割、その他5業種では約7割を占めている。

次に高齢者が最も活躍している職務分野については、卸売業、小売業、不動産業では回答割合が高い順に上位2項目は「営業・販売・接客」「総務・経理・庶務」となっており、この2項目の合計で6~7割を占めている。その他の業種の上位2項目は、製造業は「製造・生産・現場作業」56.1%、「総務・経理・庶務」16.2%、サービス業は「営業・販売・接客」34.9%、「製造・生産・現場作業」22.0%、建設業は「製造・生産・現場作業」42.4%、「営業・販売・接客」19.9%であった。

従業者規模別で見ると、高齢者の割合については、「1人~4人」「5人~9人」規模では「50%以上70%未満」、「70%以上」とした割合が他の従業者規模に比べて高かった。

次に高齢者が最も活躍している職務分野については、従業者規模が大きくなるほど「総務・経理・庶務」「製造・生産・現場作業」とした企業の割合が高くなり、「営業・販売・接客」とした企業の割合が低くなる傾向が見られた。

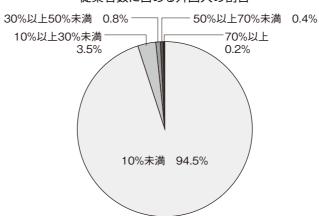
問3. 従業者数に占める外国人の割合と職務分野

同様に、現在の従業者数に占める外国人の割合(非正規含む)と、外国人が最も活躍している職務分野について調査した。

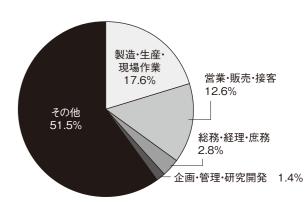
その結果、外国人の割合については回答割合が高い順に「10%未満」94.5%、「10%以上30%未満」3.5%、「30%以上50%未満」0.8%、「50%以上70%未満」0.4%、「70%以上」0.2%の順であった。

次に外国人が最も活躍している職務分野については「製造・生産・現場作業」17.6%、「営業・販売・接客」12.6%、「総務・経理・庶務」2.8%、「企画・管理・研究開発」1.4%、「その他」51.5%であった。

従業者数に占める外国人の割合



外国人が最も活躍している職務分野



※回答により100%にならないこともある。

業種別に見ると、外国人の割合については全業種に共通して上位3項目は回答割合の高い順に「10%未満」「10%以上30%未満」「30%以上50%未満」となっており、とりわけ「10%未満」は全業種で93%超である。中でも不動産業は「10%未満」とした割合が98.6%と他の業種より高い。

次に外国人が最も活躍している職務分野については、「その他」を除くと、卸売業、小売業、サービス業、不動産業では回答割合が高い順に「営業・販売・接客」「製造・生産・現場作業」「総務・経理・庶務」「企画・管理・研究開発」の順となっている。また同様に製造業、建設業では「製造・生産・現場作業」「営業・販売・接客」「総務・経理・庶務」「企画・管理・研究開発」の順となっている。

なお全業種に共通して「その他 | は49%超であった。

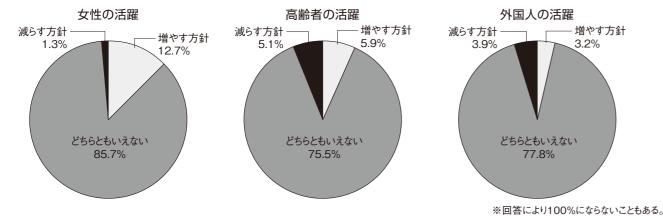
従業者規模別で見ると、外国人の割合については、従業者規模による傾向は特段見られず、「10%未満」がほぼ全従業者規模で約9割を占めている。

次に外国人が最も活躍している職務分野については、従業者規模が大きくなるほど「製造・生産・現場作業」とした企業の割合が高くなる傾向が見られた。

B

問4. 女性、高齢者、外国人の活躍推進に係る方針

信用金庫のお取引先に対し、女性、高齢者、外国人の活躍推進の今後について、それぞれどのような考えをお持ちか調査した。その結果、 女性の活躍推進については「増やす方針」12.7%、「減らす方針」1.3%、「どちらともいえない」85.7%。高齢者の活躍推進については「増やす 方針」5.9%、「減らす方針」5.1%、「どちらともいえない」75.5%。外国人の活躍推進については「増やす方針」3.2%、「減らす方針」3.9%、 「どちらともいえない」77.8%となった。



業種別に見ると、女性の活躍推進については、全業種に共通して回答割合が高い順に「どちらともいえない | 「増やす方針 | 「減らす方針 |とな っており、とりわけ「どちらともいえない」は最も高い建設業で88.6%、最も低いサービス業で80.9%と全業種で80%超となっている。「増やす方針」の 回答割合が最も高いのはサービス業の17.3%、最も低いのは建設業の9.7%であった。「減らす方針」については全業種で2%未満であった。

高齢者の活躍推進については、卸売業を除く5業種(製造業、小売業、サービス業、建設業、不動産業)に共通して「どちらともいえない」の 回答割合が最も高く、いずれの業種でも74%を超え、以下「増やす方針」「減らす方針」が続いた。卸売業のみ「どちらともいえない」73.1%、 「減らす方針」7.1%、「増やす方針」6.1%の順となっている。

外国人の活躍推進については、建設業を除く5業種(製造業、卸売業、小売業、サービス業、不動産業)に共通して「どちらともいえない」の 回答割合が最も高く、いずれの業種でも76%を超え、以下「減らす方針」「増やす方針」が続いた。建設業のみ「どちらともいえない」76.8%、 「増やす方針」5.5%、「減らす方針」3.4%の順となっている。

従業者規模別では、女性の活躍推進については、従業者規模が大きくなるほど「どちらともいえない」の割合が低くなり、「増やす方針」の割 合が高くなる傾向が見られた。高齢者の活躍推進については、従業者規模が大きくなるほど「増やす方針」の割合が高くなる傾向が見られ た。外国人の活躍推進については、従業者規模が大きくなるほど「増やす方針」の割合が高くなる傾向が見られた。

問5. 働き方改革実現会議9項目の内注力するもの

政府が「働き方改革実現会議」において課題として検討する9項目について、信用金庫のお取引先企業が注力しようと考えるものを伺っ た(最大3項目)。

その結果、回答割合の高い順に「賃金引上げと労働生産性の向上」28.4%、「女性・若者が活躍しやすい環境整備」25.5%、「長時間労 働の是正」20.2%、「同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善」「高齢者の就業促進」いずれも12.1%、「病気の治療、子育て·介護 と仕事の両立」6.9%、「柔軟な転職支援、格差是正のための人材育成」6.6%、「外国人材の受入れ」3.6%、「テレワーク、副業・兼業など柔 軟な働き方」3.0%であった。なお「特にない」は36.3%であった。

賃金引き上げと労働生産性の向上 28.4 25.5 女性・若者が活躍しやすい環境整備 長時間労働の是正 20.2 12.1 同一労働同一賃金など非正規雇用の処遇改善 高齢者の就業促進 12.1 病気の治療、子育で・介護と仕事の両立 柔軟な転職支援、格差是正のための人材育成 外国人材の受入れ テレワーク、副業・兼業など柔軟な働き方 3.0 特にない 0 10 20 30 40 (%)

働き方改革実現会議9項目の内注力するもの

業種別に見ると、小売業、サービス業、不動産業の上位3項目は回答割合の高い順に「女性・若者が活躍しやすい環境整備」「賃金引上 げと労働生産性の向上 | 「長時間労働の是正 | であった。製造業、卸売業の上位3項目は「賃金引上げと労働生産性の向上 | 「女性・若者 が活躍しやすい環境整備」「長時間労働の是正」の順、建設業では「賃金引上げと労働生産性の向上」「長時間労働の是正」「女性・若 者が活躍しやすい環境整備」の順となり、全業種で順番は前後するが上位3項目は共通の顔ぶれとなった。

従業者規模別では、従業者規模が大きくなるほど「賃金引上げと労働生産性の向上」」「長時間労働の是正」「女性・若者が活躍しやす い環境整備」の回答割合が高くなり、「特にない」の回答割合が低くなる傾向が見られた。

全国の中小企業の景況は、前期(10-12月期)と比較して、上向いた地域はなかった。

業種別では、不動産業において改善が見られた。

各業種別で、前期に比べ大幅に改善した地域は

サービス業:なし 製 造 業:なし 卸 売 業:なし 建 設 業:四国

小 売 業:東海 不動產業:東北、北九州、南九州

		東	全	北海	東	関	首都	北	東	近	中	四	北九	南九
		京	国	道	北	東	圏	陸	海	畿	国	玉	州	州
全業種合計	·(DI)	-9.3	-9	-12	-25	-13	-7	-15	-8	-4	-12	-12	1	3
製造	業	(i)	(12)			(i)	(1)	1:NE	(i)	(::)°		(i)	(::)°	
卸売	業	1:1 ^E					(i)	1:1 ^E					{\cdot\}	
小 売	業	1:1 ^E							(i)					
サービス	ス業	(i)	(i)						(i)	(i)				{[:;]
建設	業	:: B	(::)°		-:- °	(i)	(::) [®]	(i)	(::)°	(1) B	(::)	(1::)°	;:]	(;;)
不動産	業	:: "	(::) B	(::) ⁸	A A	(::)°	(::) [®]	() () () () () () () () () ()	:: B	?::\ B	?::]	:: B	(; ; ;) A	, , ,

(注)業種別の景況感を地域別に比較して作成してあります。

データは信金中央金庫が調査したものを使用し、一般社団法人東京都信用金庫協会が作成しております。

日銀短観

7
П

		2016年	12月調査		2017年	3月調査		
		最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅	
大	企	業						
製造		10	8	12	2	11	-1	
非 製	造 業	18	16	20	2	16	-4	
全 盾	美業	14	13	16	2	14	-2	
中雪		業						
製造		6	2	11	5	4	-7	
非 製	造 業	16	9	17	1	10	-7	
全 盾	業	12	7	15	3	8	-7	
中 /		業						
製造		1	-4	5	4	0	-5	
非 製	造 業	2	-2	4	2	-1	-5	
全 盾	業	2	-3	5	3	-1	-6	
全 規	模台	計						
製造		4	1	8	4	5	-3	
非 製	造 業	9	4	11	2	5	-6	
全 盾		7	2	10	3	4	-6	

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(大企業・製造業) (円/ドル) 2016年度 下期 上期 下期 上期 2016年12月調査 104.90 106.52 103.36

2017年3月調査 107.30 106.54 108.01 108.43 108.45 108.42

調査対象企業数

(2017年3月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率	
全国企業	4,391社	6,408社	10,799社	99.4%	
うち大 企業	1,082社	1,036社	2,118社	99.3%	
中堅企業	1,159社	1,852社	3,011社	99.2%	
中小企業	2,150社	3,520社	5,670社	99.5%	
全融機関	_	_	196社	99.0%	

<回答期間> 2月27日 ~ 3月31日

(注) 1.回答率=業況判断の有効回答社数/調査対象企業数×100 2.判断項目において、「最近」は回答時点を、「先行き」は3か月後を示す。「最近」の変化幅は、前回 [売上高·収益計画]

(前年度比・%)

		2016年度	松工去	2017年度 (計画)	修正率
		(計画)	修正率	(計画)	修正华
	製造業	-3.4	0.3	1.4	_
	国内	-2.3	0.2	1.8	_
大 企 業	輸出	-5.8	0.5	0.6	_
	非製造業	-5.0	-2.2	1.4	_
	全産業	-4.3	-1.2	1.4	_
	製造業	-0.2	0.2	2.4	_
中堅企業	非製造業	0.4	-0.9	2.6	_
	全産業	0.3	-0.7	2.6	_
	製造業	-0.8	0.0	1.3	_
中小企業	非製造業	-0.5	0.0	-0.1	_
	全産業	-0.5	0.0	0.2	_
	製造業	-2.4	0.2	1.6	_
全規模合計	非製造業	-2.3	-1.2	1.2	_
	全産業	-2.4	-0.7	1.3	_

(注)修正率・幅は、前回調査との対比

[需給·在庫·価格判断]

(%ポイント

	רושנדם					()	0/1/1/1/
		2016年	12月調査		2017年	3月調査	
中小企業	中小企業			最近	変化幅	先行き	変化幅
国内での製商品・ サービス需給判断 (「需要超過」ー 「供給超過」)	製造業 うち素材業種 加工業種 非製造業	-24 -32 -19 -19	-24 -32 -19 -19	-19 -25 -15 -17	5 7 4 2	-22 -28 -18 -19	-3 -3 -3 -2
海外での製商品需 給判断 (「需要超過」— 「供給超過」)	製造業 うち素材業種 加工業種	-17 -21 -14	-16 -21 -13	-12 -18 -9	5 3 5	-12 -18 -9	0 0 0
製商品在庫 水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業 うち素材業種 加工業種	12 14 9		10 12 9	-2 -2 0		
製商品流通在庫 水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業 うち素材業種 加工業種	18 23 13		15 20 10	-3 -3 -3		
販売価格判断	製造業 うち素材業種 加工業種 非製造業	-8 -6 -10 -6	-8 -1 -12 -5	-4 1 -8 -4	4 7 2 2	-3 5 -8 -2	1 4 0 2
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業 うち素材業種 加工業種 非製造業	12 12 11 15	23 28 20 21	24 27 22 19	12 15 11 4	33 33 32 23	9 6 10 4

調査の「最近」との対比。「先行き」の変化幅は、今回調査の「最近」との対比(以下同じ)。

東京都2月の企業倒産

1.概況

東京都内の企業倒産は167件発生し、3か月ぶりに前年同月を上 回った。負債額の合計は173億円であった。前月対比では、件数は 44件増加し、負債額は12億円減少した。また前年同月対比では、件 数は29件増加し、負債額は317億円減少した。

(単位:件・億円)

	T-100/T00	T-1-00-7-1-0	T-100 700		
	半成28年2月	平成29年1月	半成29年2月	前月比	前年同月比
件 数	138	123	167	44	29
金 額	490	185	173	△12	△317

2.原因別倒産動向 (単位:件・億円 千万円以下は切捨て)

放	放漫経営		少資本	他社任	到産の余波	既往	のしわよせ	販	売不振
9	44	2	0	14	6	16	23	125	98
売掛金	金等回収難	信月	目性低下	在庫	状態悪化	設備投資過大		د	その他
1	0	0	0	0	0	0	0	0	0

3.業種·規模別倒産動向

(単位:件・億円)

(+E-11 MS)								
		件 数			金 額			
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月		
製造業	15	12	18	73	10	8		
卸売業	24	20	36	45	21	38		
小売業	13	19	11	71	53	5		
サービス業	11	10	11	2	5	9		
建設業	19	13	16	30	30	10		
不動産業	3	7	9	12	13	16		
情報通信業·運輸業	22	10	23	19	9	33		
宿泊業・飲食サービス業	7	14	10	1	21	3		
その他	24	18	33	230	20	45		
合計	138	123	167	490	185	173		

※金額の億円未満は切り捨て表示の為、合計と一致しない。

4.地域別倒産動向

地区別の倒産件数は、千代田区・中央区がそれぞれ16件(負債額は 約11億円・14億円)発生して最も多く、次いで港区が15件(同約23億円) 発生している。

5.大口倒産動向

当月の主な大口倒産は、以下の通り。

企業名	所在地	業 種	負債総額
なし			

(注) データは東京都産業労働局「東京の企業倒産状況」((株)東京商工リサーチ調べ)を使用し、 一般社団法人東京都信用金庫協会が作成しております。

負債額 倒産件数 180 -600 167件 160 161件 -500 145件 140 130件 120 123件 -400 100 -103件 -300 80 億円 242 237 60 -億円 -200 億円 173 173 億円 40 -億円 億円 100 20 0 2016/9 10 12 2017/1 2 11

●スポット君判断表 業種別定点指標値

			and the second s	.: B	(::)°	(i) P	7:)E		G
製	造	業	20以上	19~10	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31以下
卸	売	業	20以上	19~10	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31以下
小	売	業	10以上	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31~△40	△41以下
サ	ービス	業	15以上	14~5	4~△5	△6~△15	△16~△25	△26~△35	△36以下
建	設	業	20以上	19~10	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31以下
不	動産	業	10以上	9~0	△1~△10	△11~△20	△21~△30	△31~△40	△41以下

好調 不調

※上記マークの基準は業況判断D.I季節調整済修正値で判断します。

●地域区別表

都 心	千代田区・中央区・港区	副都心	新宿区・文京区・渋谷区・豊島区
都心近接	台東区・荒川区・墨田区	東 部	江東区・足立区・葛飾区・江戸川区
西部	杉並区・世田谷区・中野区	南 部	大田区・品川区・目黒区
北 部	板橋区・練馬区・北区	多摩	都下市・郡部

回答事業所数の規模別内訳

(単位:事業所数・%)

業種		莫別	有効回答 事業所数	4人以下	5~9人	10~ 19人	20~ 29人	30~ 39人	40~ 49人	50~ 99人	100~ 199人	200~ 300人
製	造	業	2,897	39.9	21.8	17.3	8.3	3.6	2.3	4.8	1.7	0.3
卸	売	業	967	38.8	25.0	17.6	7.4	3.5	1.7	3.9	2.1	0.0
小	売	業	1,928	75.4	13.1	5.2	2.2	0.9	0.8	2.4	0.0	0.0
サ・	ービス	業	1,541	46.9	17.9	12.7	6.6	3.8	2.8	5.4	4.0	0.0
建	設	業	1,118	34.6	29.0	20.5	7.0	3.3	1.3	3.2	0.8	0.4
不	動産	業	601	62.4	23.6	8.8	2.5	0.8	1.0	0.7	0.0	0.2
業	種	計	9,052	49.4 (4,468)	20.6 (1,868)	13.8 (1,250)	6.1 (548)	2.8 (255)	1.8 (163)	3.8 (347)	1.5 (139)	0.2 (14)

調査方法·対象と回収状況

1.調查機関 一般社団法人東京都信用金庫協会 業務部地域支援課

1.調査方法 信用金庫営業店から企業へ聴取

1.調査時期 29年1~3月期を対象に29年3月上旬に実施

1. 実施状況 9,195 事業所数

未回収事業所数 143

(内訳) 倒産·廃業 調査拒否 13 事 業 転 換 2 78 取引解消

6 休 業 4 不在が続く 15 その他 17

1.有効回答事業所数 9,052 有効回答率 98.44%



東京都よろず支援拠点のご案内

よろず支援拠点は国が各都道府県に1か所設置する経営相談所で、売上拡大・販路開拓など、 中小企業・小規模事業者の皆様の各種相談に対し、中小企業支援の経験豊富な専門家が無料で 助言・支援を実施するものです。

◆実施機関:一般社団法人東京都信用金庫協会

用:無料

象:東京に事業所(支店、工場含む)を持つ事業者(中小企業、小規模事業者、創業予定者等)様

◆相談窓口: <場所①>新橋事務所(港区新橋1-18-6 共栄火災ビル1階)

相談日時:月曜日~金曜日 9:30~12:00、13:00~17:00

<場所②>BusiNest(東大和市桜が丘2-137-5 中小企業大学校東京校東大和寮3階)

相談日時:月曜日~金曜日 9:30~12:00、13:00~17:00

◆ご連絡先: **03-6205-4728** (両相談窓口共通)

編集·発行

一般社団法人東京都信用金庫協会 業務部地域支援課

〒104-0031 東京都中央区京橋3-8-1 信用金庫会館 京橋別館12階 TEL(03)6228 - 8557FAX (03) 6228 - 8871 印刷除三修